2025年度 学生懸賞論文の募集について

2025年度の学生懸賞論文を下記要領で募集します。皆さんがこの機会に日頃の研究成果をまとめ、ふるって応募されることを望みます。なお、優秀な作品は「学生論集」に掲載します。この論文刊行が、皆さんの研究活動の大きな励みになるよう強く期待します。

〔募集要項〕

【応募資格】 本学の学部生。なお、複数の学生による共同論文でもよい。（※休学者は除く）

※ただし同一学生が複数の論文を投稿（個人応募、グループ応募とも）することは不可とする

【論 題】 経済学、社会学、社会福祉学、経営学、文学、法学、ビジネスデザイン学、教育学、保育学、健康・スポーツ科学、言語学および文化全般に関するもの。

【原 稿】 1) 原稿は完全原稿であり、必ず執筆者自身の作品で未発表論文に限る（二重投稿禁止）

2) 論文は **18,000文字以内**とする。（半角も1文字としてカウントする）

英文での執筆の場合は、7,500単語以内とする。

※グラフ、図表、画像は大きさに関わらず1点につき400字換算、英文の場合は160単語換算とする。

（図表はその出典などを示した文字も含めて400字換算/160単語換算とする）

※注意) Wordの文字カウント機能を使用する場合、必ず[校閲]タブ→[文字カウント]をクリックし、「文字数（スペースを含める）」の数を確認すること

3) タイトル、注釈、参考文献等も2)に定めた容量に含む。

（例）・表紙（タイトル、要約、執筆者、原稿量） ・目次 ・脚注、注釈

・参考文献 ・全角スペース、半角スペース、タブ、改行記号

4) 謝辞（指導教員の名前等）を記載する場合は、必ず本文の最後に「謝辞」と見出しを付けて記載すること。審査は謝辞を削除したもので行い、学生論集に掲載する場合は謝辞も掲載する。

【審 査】 投稿された論文は、審査委員会により厳正に審査を行う。

文字数が規定を超えるものは審査対象外とする。

なお、入賞作品については学生論集に掲載する。

入賞しなかった作品でも、一定の評価基準を超えるものは氏名・テーマ等を学生論集に掲載する場合がある。

※剽窃（盗用、いわゆるコピー）などの研究倫理に反する論文の投稿はしないこと。審査発表後に著作権侵害の恐れがあるなど研究倫理上、問題があると判断された場合には授賞

を取り消す。引用方法については、「論文執筆のための参考資料」の「Ⅱ. 引用文献の表示に関する留意事項」を参照のこと。

※生成 AI の利用については、「桃山学院大学における生成 AI の利用ガイドラインについて」を必ず参照すること。(https://www.andrew.ac.jp/newsttopics3/2024/jbo7mq000000fixz.html)

【著作権】 投稿された論文の著作権管理は桃山学院大学学生研究発表委員会に委託するものとする。

【受付期間】 2025年12月15日(月)～2026年1月9日(金)16時40分〔厳守〕

【応募方法】 「応募論文」と「申込書」(所定様式)を Microsoft Word 形式でデータにて提出すること。データはメールに添付し、 **kensyo@andrew.ac.jp** に送付すること。

メールの件名には「学籍番号・氏名」を記入すること。

論文が正しく応募できている場合は、上記のアドレスから「受信確認」を返信する。万が一、応募メール送信後2日以上に「受信確認」の返信がない場合は、学部事務室(0725-92-7062)まで連絡すること。

【応募先】 **kensyo@andrew.ac.jp** (※アドレス間違いにご注意ください)

【発表】 2026年3月2日(月)に M-Port で発表する予定。

【奨励金】

- ・学長特別賞(特に優れたもの) 20万円
- ・優秀作(若干編) 各10万円
- ・佳作(若干編) 各5万円
- ・準佳作(若干編) 各3万円
- ・予備審査通過者 各1千円分の図書券

【表彰式】 2026年3月17日(火)

【その他】

- 1) 応募者は、M-Port で「募集要項」「論文執筆のため参考資料」を確認すること。「学生論集第40号」は学部事務室(聖ペテロ館4階)にて秋学期以降に受け取りが可能。
- 2) 論文執筆に当たっては、「募集要項」を遵守し、「論文執筆のため参考資料」を参考とすること。

2025年7月

桃山学院大学

経済学部/社会学部/経営学部/国際教養学部/法学部/ビジネスデザイン学部/人間教育学部